

食の農学科群

「ナシの摘果実習！」

一年生の総合実習では、野菜・果樹・食品加工・微生物実験の4分野をローテーションで学習します。今回果樹の実習でナシの摘果を行いました。摘果とは一つの実に養分を集めるために、不要な実を摘み取る管理です。ナシの場合は1か所です。5～6個ほどの実を切り落としました。現在管理しているナシは9月頃に収穫予定です。今から収穫期が楽しみです。



在校生から一言

内山愛咲（坂本中学校出身）

私たちは5月からリンゴの袋掛け実習を行っています。今までやったことない管理に最初はとても苦戦していましたが、何度も繰り返すうちにできるようになっていきました。色々な実習を楽しい仲間とできることが、とてもうれしいです。



あぐりじえんす

2023
SPRING & SUMMER
ダイジェスト版
第11号



花と緑の農学科群

「総合実習」

1年生の総合実習は、草花栽培・草花活用・森林保全・身近な環境の4分野をローテーションで学習をしています。写真は草花活用分野の実習で、ナデシコとダスティミラーの播種をしている様子です。セルトレーに土が固くなりすぎないように注意して土を詰め、3人で128穴のセルに、小さな種子を1粒ずつ丁寧に播きました。今後芽が出て、大きくなったら鉢上げをして、寄せ植えの実習にも使っていく予定です。



在校生から一言

瀬戸和佳（恵那北中学校出身）

農高で頑張っていることは、総合実習の授業です。まず、先生の説明をよく聞くことが重要で、聞いた話は、すぐメモを取り、実習に生かします。実習を通して学んだことをレポートにし、翌日提出します。レポートは、図やレイアウトなどを工夫して分かりやすくまとめるようにしています。



生産科学科



ニンニクの収穫！

生産科学科では野菜・果樹・流通の分野に関して生産から流通までを勉強します。今回、野菜の実習でニンニクの収穫を行いました。ニンニクは昨年の10月に播種（種まき）を行い、その後定植し、長い期間をかけて収穫までたどり着きました。大きなニンニクをたくさん収穫することができました！



食品科学科



恵那市学校給食メニュー開発連携事業

食品科学科2年生が課題研究の授業で恵那市役所農政課、恵那市学校給食センターと連携し、市内の小・中学生に提供する給食メニューを開発しています。現在は地域食材とそれら食材の活用方法について調べています。今後は農政課、給食センターによる講話の内容を踏まえ、夏の試作に向けて取り組んでいきます。



園芸科学科



見学研修

5月12日、2年生が見学研修に行きました。研修先は「花友フェスタ」というガーデニングの販売イベントと、日本一のサボテン農場「岐孝園」です。花や緑に関する様々な商品を見たり、新しい商品開発や事業を起こすときの考え方などを聞いたりして刺激的な1日になりました。今後の学習に活かしていきます。



環境科学科



測量実習

2年生からは学科の3本柱である、測量・森林・環境の分野に関連した実習をしています。写真は測量実習の様子です。まずは基礎を学ぶために平板測量を行っています。測量を始めるにあたって、使用する機器は正確に設置しなければなりません。今後の実習で技術を身に付けながら、校内の縮図を完成させます。

農業クラブ

5月に農業クラブ総会・意見発表会・農業鑑定競技会が行われました。各種発表会・競技会の成績上位者は、7月下旬に開催される県大会に出場します。なお、今年度の全国大会は熊本県で開催される予定です。



沖縄修学旅行

マスクの着用など100%もとの修学旅行と同じとは言えなかったものの、高校入学以来3年間で一番の笑顔での沖縄修学旅行となりました。マリンスポーツや平和学習など貴重な体験となりました。修学旅行へ行かせていただいた保護者の皆様に心から感謝しています。本当にありがとうございました。



球技大会

コロナ感染症が5類となり初の球技大会。応援や活動の制限もなく、力の限り戦い、クラスの仲間を大声で応援しました。昨年度は3年生の団結力を見せつけられる球技大会となりましたが、今年度はすべての学年が接戦で見ごたえのある大会となりました。



進路指導部

「卒業生と語る会」

卒業後の進路について理解を深めるために、様々な就職・進学先で活躍する卒業生が来校して「卒業生と語る会」を実施しました。卒業生は職場や学校の雰囲気、やりがい、高校生活での体験談などについて熱心に語ってくれました。特に、高校生の今やるべきことについては厳しい助言もあり、在校生が真剣な表情で話を聞く姿が印象的でした。

卒業生と語る会に参加し、さまざまな進路先で活躍している卒業生の方にお話を聞いて、少し視野が広がった気がする。高校生のときやって良かった、もう少しやってあげたので、それを生かしているのやっていると。どの道に進んでも辛いことは必ずあるので、それだったら叶えたい夢を選びたいと思えるようになった。（2年生）

